

参加費  
無料

# 日本語学習者は どうやって語彙を学ぶのか？

—語彙教育・語彙学習について考える—

日時：2009年11月7日(土) 13:00～16:00 場所：恵泉女学園大学 J202教室

知り合いのタイ人と旅行の話をしていたときです。「たまに休んで旅行に行っても、バチはあたらないうね。だけど、往復5万円、うーん、ちょっといたいなあ。行きたいのはやまやまだけど、5万じゃね。」と言ったので、びっくりしました。「～してもバチはあたらない」「～したいのはやまやまだけど」のような巧みな表現はどうやって身につけたのでしょうか。日本語の授業中でしょうか。アニメから、あるいは身近な日本人からでしょうか。最近、このタイ人のように日本語を使いこなす外国人が増えています。

では、「日本語を使いこなす」ということは一体どういうことなのでしょうか。文法的、語彙的に正しい文を作るだけでなく、いつ、誰に対して、どのように話すのかといっ

た場をわきまえて、日本語を適切に使用できる能力のことをいうのではないのでしょうか。このような能力は、一般的にはコミュニケーション能力といわれています。

コミュニケーション能力に関しては様々な考え方がありますが、文法、語彙、発音、文字表記など言語を正しく理解し、使用する言語能力・社会言語能力・談話能力・ストラテジー能力の4つの領域の知識とスキルが含まれているという説もあります。

本シンポジウムでは、コミュニケーションをとる上で必要な言語能力のひとつである語彙に焦点を当て、それを学ぶ側と手助けする側の両方の視点から語彙学習、語彙教育について考えていきたいと思ひます。

## プログラム

- 13:00 開会の挨拶
- 13:10 外国人ゲストのお話を聞く
- 13:40 日本語教育と英語学・英語教育の専門家のお話を聞く
- 14:35 茶話会／ブレイクタイム  
ここでちょっとブレイク。自由に意見交換する時間です。フロアーの皆さんとゲスト・専門家の皆さんでご歓談ください。お茶とお菓子をご用意します。
- 15:05 ディスカッションによる解説・コメント
- 15:20 質疑応答
- 15:50 シンポジウムのまとめ
- 16:00 終了

## 出席者

- ★ゲスト  
日本語学習経験者(4名)
- ★パネリスト  
柏崎 雅世(放送大学客員教授)  
滝沢 直宏(名古屋大学大学院国際開発研究科教授)  
土井 みつる(東京工業大学留学生センター講師)
- ★ディスカッション  
佐々木 倫子(桜美林大学大学院言語教育研究科教授)
- ★司会  
秋元 美晴(恵泉女学園大学大学院人文学研究科教授)



一緒に日本語教育の語彙について考えてみませんか。皆さんの積極的なご参加をお待ちしています。

主催：恵泉女学園大学大学院 共催：恵泉女学園大学平和文化研究所

問合せ先：恵泉女学園大学 庶務課 Tel.042-376-8211 shomuka@keisen.ac.jp

〒206-8586 東京都多摩市南野2-10-1 小田急線・京王線・多摩モノレール「多摩センター」駅下車 スクールバス約8分